



北斗句会 七月定例会 (三日 偕行社) 兼題「青」「祭」

五十音順 特は特選 石田きよし選

瓜食めばシルクロードの香りかな 大崎石州

特 梅雨寒やシャッター街の靴の音 太田黒幸風

道草のおやつは実梅秘密基地 大森康政

夏痩せて朝餉の椀に味噌の濃さ 竹内雲泉

明日咲くと寝室に置く百合の壺 田中資凡

杖解きし脚の自在や揚羽蝶 長池豆陽

老若の無言でくぐる茅の輪かな 深見十萬


特 うす雲に影をやどして梅雨の月 藤田紀潮

青葉から元気頂き三万歩 宮下ひかる

青蘆の叢に朽ちたる和船かな 森田光彦

特 木道に聞き耳たてる水芭蕉 山縣秀雄

子らも知るひと月近く啼く蟬を 吉岡誠山


遅れたるをそこ日傘をさして来る 石田きよし